



大分県議会議員

原田たかし会報



教育・福祉・労働

子どもたちが「生まれてきてよかった」、
高齢者の方々が「長生きしてよかった」と
思える社会を実現するために

大分県議会議員 原田 孝司

2019年春号 県民クラブ会報「県民ひろば」別府市版

発行責任者 大分県議会・県民クラブ 原田 孝司
連絡先 別府市鶴見8組3の上 TEL・FAX 0977(26)7669 E-Mail harada@ctb.ne.jp

原田たかし、3期目の当選をさせていただきました

～第19回統一自治体選挙、大分県議会議員選挙行われる～

4月7日(日)、投開票が行われた大分県議会議員選挙において、7,158票をいただき3期目の当選をさせていただきました。

御支援をいただきましたことに心から感謝申し上げますとともに、今期も皆さん方の思いや願いを県政に反映させるよう全力で取り組みます。

思いや願いを「投票」で政治に参加を

～投票率50%をどう考えるか～

今回の選挙を振り返り、一番の課題は投票率の低さだと思います。大分県議会議員選挙別府市選挙区の投票率は50.86%でした。

県知事選挙においても全県下の投票率は47.41%と過去最低となっており、有権者の半分の方しか投票していないことになります。

投票率の低下は、全国的な傾向でもあります。原因は、「政治不信」「政治離れ」なのでしょうか？ある国政選挙の調査で「投票しなかった



当選証書授与式に臨む

4月10日(水)、大分県庁において当選証書授与式が行われました。

私の所属している県民クラブでは、勇退された久原和弘県議(臼杵市選出)を除く12名の議員は全員当選し、新人で連合大分推薦の高橋 肇さん(臼杵市選出)、成迫健児さん(佐伯市選出)が加入しました。

さらに、大分県初の立憲民主党公認で当選された浦野英樹さん(大分市選出)も加わり総勢15名となりました。



人」に棄権理由を質問したところ、「適当な候補者や政党がなかったから」、「選挙に関心がないから」「政党の施策や候補者の人物像など、違いがわからないから」、「仕事があったから」という答えが多かったそうです。

自治体選挙は首長や議員を選ぶものですが、見方を換えれば、これからの大分県や別府市のあり方、市民生活のあり方の選択とも言えます。自分の思いや願いを「投票」という方法で政治に参加することは、憲法に保障された主権者の権利です。

私は政治や県政に関心を持っていただくために、議会活動を充実させていくとともに、議会報告やHP、さらに公式LINE等で情報発信をこれまで以上に取り組んでいきたいと考えています。



折り鶴に込めた願い

原田孝司のシンボルマークは平和を象徴する折り鶴です。背景には、教育・福祉・労働を表現する虹がかかっています。